

緑の風 NEWS

JR東労組



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2023年 10月14日 No. 33

横浜地本川崎運輸区分会組合員

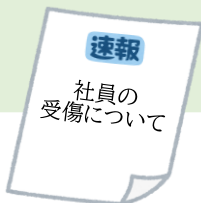
業務上の傷害で記憶障害に

2023年8月24日、南武線・武蔵中原駅下りホームにて乗継交代時に見習い運転士(JR東労組組合員)を教導運転士が後部から引っ張りバランスを崩して転倒。その際に後頭部を強く打ち、めまいなどの異常があったために救急車にて緊急搬送されました。その後、当該見習い運転士が記憶障害(人物・文字・生活のほとんどが分からない)となってしまいました。

中央本部は、この事象に対し、組合員とご家族を支えていくことを決定し、「事実の解明」と「本人とご家族を支える取り組み」を行っていきます。

組合員から寄せられた事実解明や生活支援に対する声

- 速報に記憶障害となっていることが周知されないのは何故??



- この受傷場所は、駅の防犯カメラに映っているはずだ。



- 何故、現場長は本人に組合の話をするの?



- 横浜支社は、他の支社と違って東労組組合員は教導運転士につけない差別をしていると聞いたけど、そういう教導指定の問題も背景にはあるのではないか。

- 尻もちをついたっていう会社の概況があるけど尻もちで記憶障害にならない!

- まさか、隠蔽しないよな?

- 何故他職場に、周知しないの?

- 原因究明したの?

- 業務上の傷害で記憶障害になったのだから、会社は保障すべきではないの?

- 労災は?今後の生活保障は?

多くの疑問点や当該組合員を心配する声が届いています!中央本部は横浜地本や川崎運輸区分会と連帯し、「事実の解明」と「本人とご家族を支える取り組み」を行います!

事実を解明し仲間を支えよう